

# 議 事 録

目 的	第5回尾鷲市総合計画審議会 部会協議
-----	--------------------

日 時	平成28年9月30日（金） 19：00～19：40
-----	---------------------------

場 所	中央公民館3階 講座室B
-----	--------------

部 会 名	第4部会
-------	------

内 容
<p>○出席者 委員：北裏佳代委員、堀内達也委員、若林正也委員、石川郷子委員、南進委員 市：教育総務課 佐野課長、生涯学習課 世古係長、教育総務課 山本調整監、福祉保健課 東係長、市長公室 森下係長</p>
<p>○主な協議等内容</p>
<p>◆411 子育て支援の推進について 前回、「ネウボラ」の説明を入れた方がいいのではという意見がございましたので、67ページの下段に注釈を入れました。</p>
<p>※意見なし</p>
<p>◆412 未就学児への支援について 修正箇所はございません。</p>
<p>※意見なし</p>
<p>◆413 学校教育の充実について 70ページ、施策の成果を測る指標は94.5%を現状値にして、目標は「楽しくない」と思っている層を半減するという事で、97.0%とさせていただきます。 71ページ、方針②の「市はすべての学校で給食が実施できるよう取り組みます。」を「実施できるよう努めます。」に修正しました。</p>
<p>委員：各学校へのアンケートの回答は「満足」など4つくらいに分けたのか。</p>
<p>佐野課長：「楽しい、満足」、「どちらかと言うと楽しい、満足」、「どちらかと言うと楽しくない」、それから「楽しくない」。内容的にみると「楽しい」「どちらかと言うと楽しい」という人が小学校で96%、中学校で92%近くある。「楽しくない」と思っている人が中学校で8.2%なので、これは全国と同様の形を聞いていても、都市部などでは7割行ったら良いくらいという話を聞くので、かなり高い。</p>
<p>委員：あとのマイナスの子は、本当に行きたくないとか、そういうものか。</p>

佐野課長：このアンケートに答えてくれているということは、学校に来てくれているということでもあるので、いわゆる不登校という子たちではなく、何か原因があるのだろう。そこは、学校と現場と一緒に探っていかなければいけないし、2%、3%減らして97%という話の取り組みの一つになってくるだろうと思う。

委員：最近、他所であるがメールなどでのいじめの問題で自殺したとかいう事例が出てきたので、一件でも出るとその学校はダメな学校になっていく。そのような中で、この施策の71ページの上のほうにある現状と課題の「児童生徒の家庭のなかには、様々な問題を抱える家庭も見られ、生徒指導においてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の必要性が高まっています。」という一つの改善策として持っていくのか。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーはまだ全然配置していないのか。

佐野課長：県と一緒にもう動いている。学校を回ってくれたり、相談を個別に受けてもらったり、色々やっている。

委員：71ページのこのコミュニティスクールというのはどういうものか

佐野課長：今まで学校のことは学校だけだったが、コミュニティスクールは委員を含め地域の方と一緒に学校を運営し、盛り上げていきたいと思いますということである。例えば、餅つき大会などを入り口としてはしているが、これを例えば平日の放課後におじいちゃんおばあちゃんが来て、宿題を見たりとか、そういう話も含めた地域の方と子どもたちが一緒になってやれる、コミュニティが学校を見守るという流れもある。

山本調整監：学校の運営というのは、校長を中心に学校だけだったが、そうではなく、PTAの代表、保護者の代表も地域の方も入ってもらって、学校運営協議会というものをつくり、そこでの話し合いを元に皆で学校を運営していこうというものである。学校も地域も保護者も同じラインで一緒になって学校を運営していく。昔は、学校があつて、地域・保護者がいて、学校へ協力していくという形だったが、一緒になって学校を動かしていく。そういうものがコミュニティスクールである。尾鷲市で本格的にやっているのが尾鷲小学校で、来年輪内中学校が本格的にコミュニティスクールになる。今その準備をしている。

#### ◆421 生涯教育の推進について

73ページの方針①の「市は生涯教育の施設や設備の整備を進めます。」を「整備に努めます。」に、方針②の「市は市民が優れた芸術文化に触れる機会を充実します。」の「優れた」を削除しました。あと、関連する計画に、「尾鷲市教育大綱」と「尾鷲市教育ビジョン」を追加しました。

※意見なし

#### ◆422 生涯スポーツの推進について

施策の成果を測る指標を「スポーツ施設の利用者数」から「市民一人あたりの年間スポーツ施設利用回数」、平成27年度現状値3.50回を平成33年目標値4.00回に変更しました。あと、75ページの方針②の部分と関連する計画に「尾鷲市教育大綱」と「尾鷲市教育ビジョン」を追加しました。

委員：さっきの指標の27年、33年の数値だが、「市民一人あたりの年間スポーツ施設利用回数」は、施設の利用を人数で表していたものを回数で比較するという事か。

世古係長：実際の利用者数とその年の人口との人口割りで一人当たりの利用回数という形である。そうすると人口の変動に関係なく、一人当たりのスポーツに親しんだ度合いが数値で分かる。

◆423 国際交流の推進について  
修正箇所はございません。

※意見なし